

さいたま市防災カルテ

春里中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

【位置】見沼区の中央部から北寄りに位置し、岩槻区と隣接している。
 【土地利用】学区内には住宅地、東部には田んぼが広がっており、綾瀬川が流れる。
 【交通】学区の東部に東大宮バイパス、南部には東武野田線が走っている。

◆学区の位置



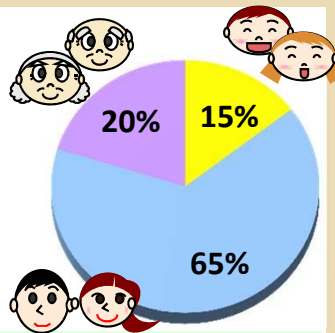
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.0)	6強 (6.1)	6弱 (5.5)			
最小震度	6弱 (5.7)	6弱 (5.7)	5強 (5.0)			
死者	7人 (0.0%)	13人 (0.1%)	0人 (0.0%)			
負傷者	95人 (0.4%)	126人 (0.6%)	3人 (0.0%)			
避難者	937人 (4.4%)	1,511人 (7.1%)	27人 (0.1%)			
全壊建物棟数	280棟 (3.8%)	496棟 (6.8%)	1棟 (0.0%)			
うち焼失棟数	149棟 (2.0%)	268棟 (3.7%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	805棟 (11.0%)	995棟 (13.6%)	73棟 (1.0%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	288棟	0棟	0棟	96棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	400棟	0棟	0棟	565棟	0棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	春里中学校区	全市平均
総人口	21,416人	
人口等		
0-14歳	3,111人 (15%)	(14%)
15-64歳	13,979人 (65%)	(67%)
65歳以上	4,327人 (20%)	(19%)
人口密度	5,436人/km ²	5,766人/km ²



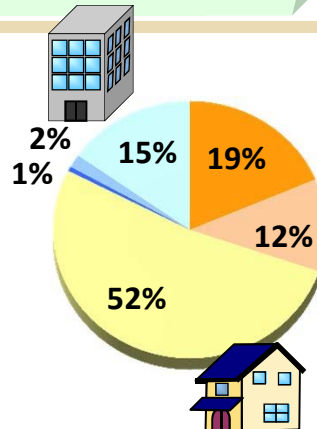
【地震】関東平野北西縁断層帯地震の震度が最も大きくなっており、**地区の約20%が全壊・半壊の被害**を受け、**地区の数%にあたる建物は焼失**する恐れがある。

【水害】芝川等(加田屋川)が氾濫した場合、**地区の10%程度が浸水被害**を受ける。

●人口割合は全市平均とほぼ同等である。

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	春里中学校区	全市平均
総建物棟数	7,291棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	1,354棟 (19%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	851棟 (12%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	3,816棟 (52%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	40棟 (1%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	120棟 (2%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	1,110棟 (15%)	(21%)



●全市平均と比較すると、**新しい木造建物の割合が大きい**。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	春里中学校、春岡小学校、蓮沼小学校、春岡公民館
一時・広域避難場所	西郭公園
市・区役所等窓口	春岡支所
消防署・出張所	
警察署・交番	春岡交番
救急病院	
応急給水場所	春里中学校、蓮沼小学校

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

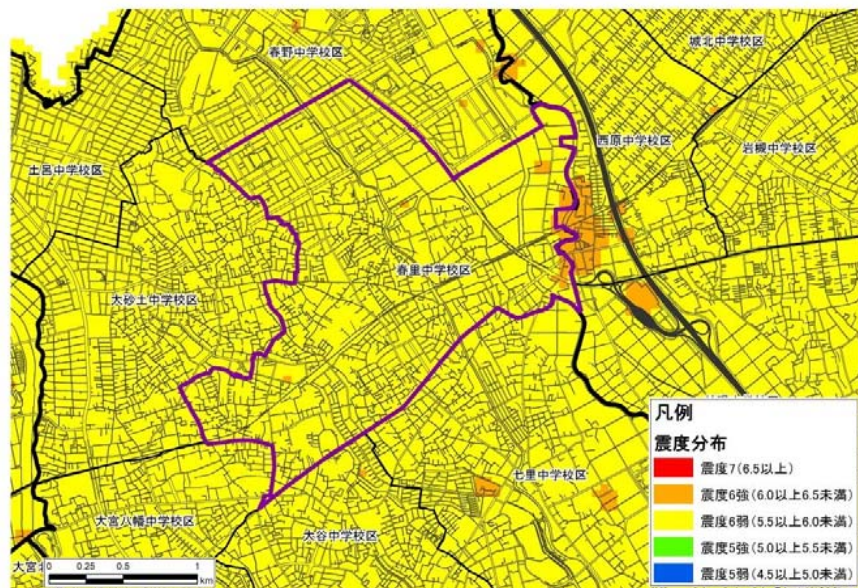
【水害】地域に水害の危険性が高いエリアがあり、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要**。
 【その他】高速道路のインターチェンジ周辺に位置するため、**災害時に地区内**が**渋滞する恐れ**。

②さいたま市直下地震の想定 **さいたま市防災カルテ**

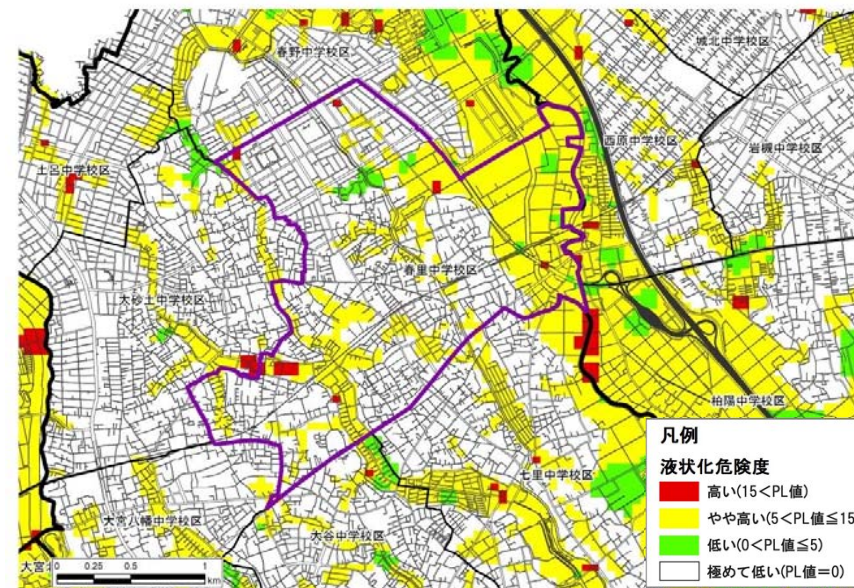
春里中学校区

見沼
MINUMA

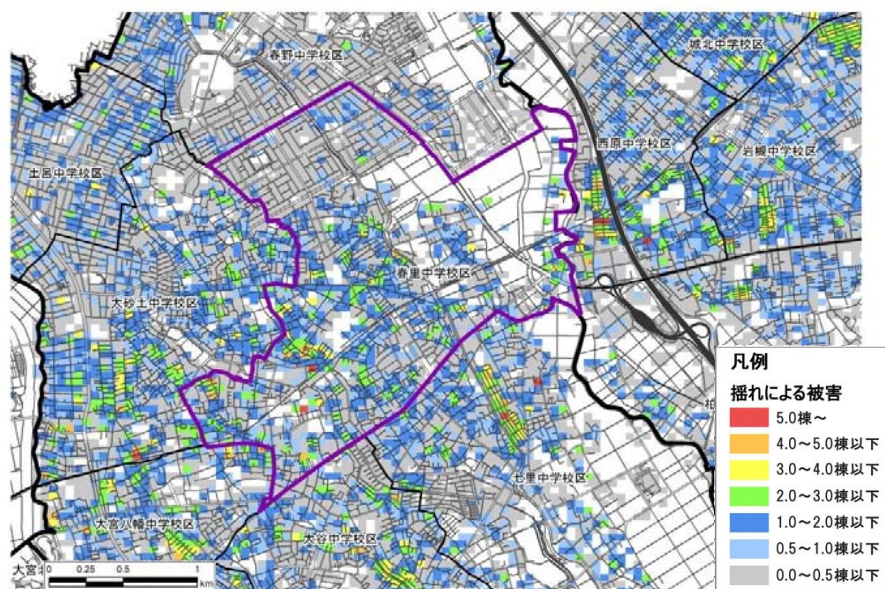
震度分布図



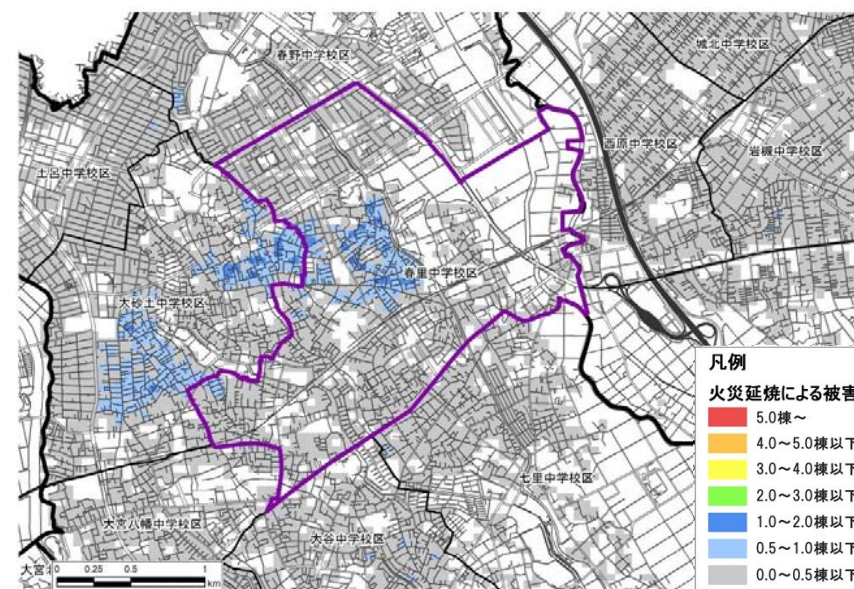
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

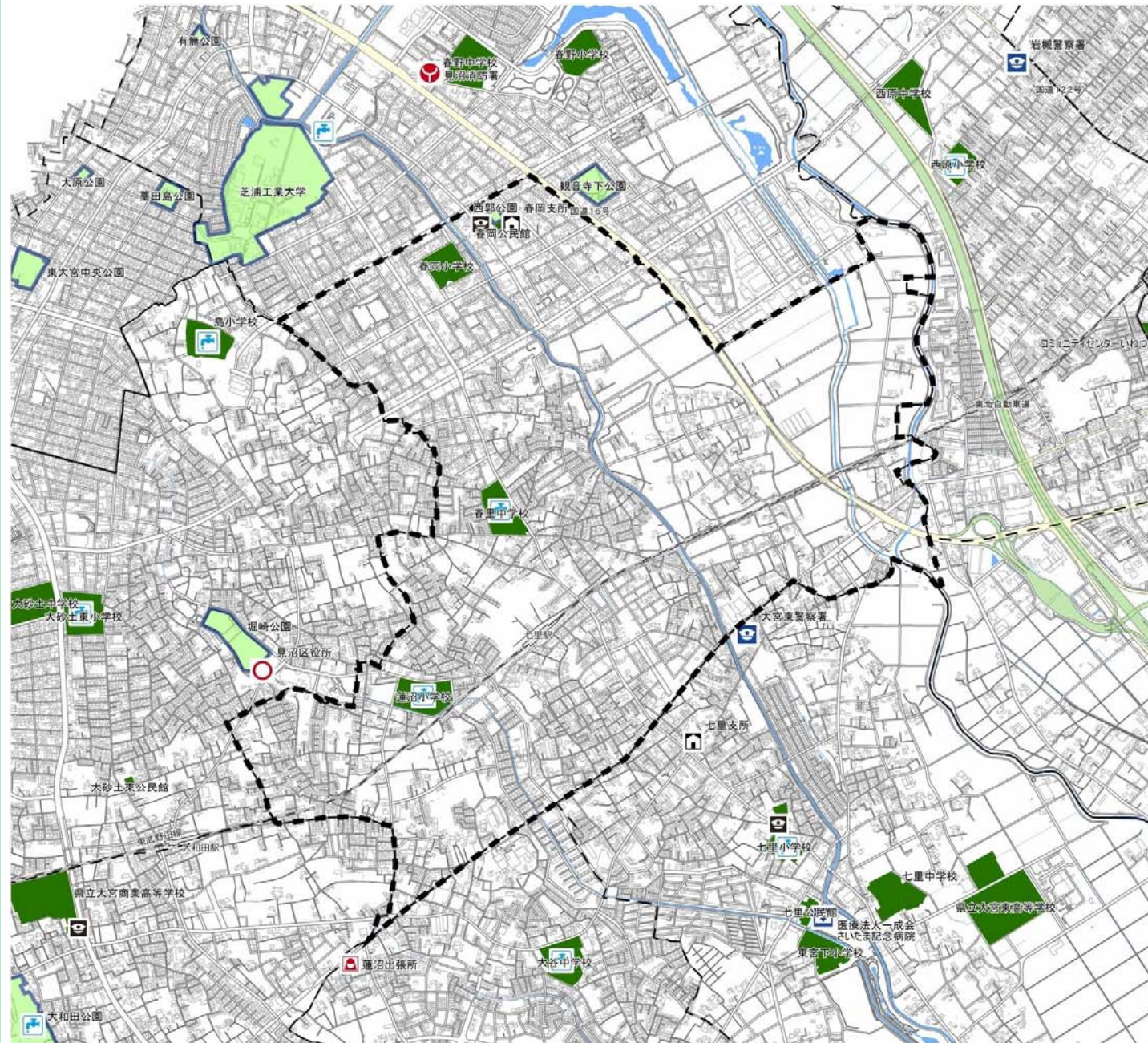


③防災マップ

さいたま市防災カルテ

春里中学校区

見沼
MINUMA



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

メモ欄

